９月１日（金）２学期始業式での挨拶

おはようございます。校長の吉澤です。

夏季休業中に大きな事故等無く、画面越しではありますが、こうして皆さんの元気そうな姿を見ることが出来て嬉しく思います。

この夏は最高気温が35度を超える所謂猛暑日が各地域で歴代最多日数を更新する暑い夏でした。その様な中でも、皆さんは補習や部活動、白梅祭の準備に励んでいました。また生徒会の人を中心に、学校説明会や PTA ものづくり研修会、越辺川清掃活動、灯籠祭り等へ参加していただき、大変ありがとうございました。

さて、暦の上では立秋（8月８日）を過ぎ、秋ということになります。食欲の秋・読書の秋、スポーツや芸術の秋と言われますが、特に3年生の皆さんにとっては、「進路実現の秋」として欲しいと思います。皆さんの希望進路を実現させるために２つ話をします。

一つは8月25日に日本で開幕したバスケットボールのワールドカップに日本代表として出場している富樫勇樹選手・河村勇輝選手についてです。あと１勝すれば４８年振りのオリンピック出場となる日本チームの司令塔として活躍している富樫選手は身長１６７ｃｍ、河村選手は１７２ｃｍと２ｍ超が多数いるバスケ選手の中にあって決して体格的には恵まれていません。しかし二人とも「小さい」ということを逆に自分の武器として、スピードやテクニック、そしてメンタル等を鍛

えることにより世界に通用するプレーヤーとして注目されています。このように自分の「弱み」を逆に「強み」に変え、自分なりのやり方を身につけることが大事であると言うことを教えてくれています。

　もう一つは、ハンガリーのブダペストで開催された世界陸上の男子４００ｍで４４秒７７の日本新記録を樹立した佐藤拳太郎選手についてです。この４００ｍの記録は日本陸上競技の最古の記録として３２年間更新されていませんでした。佐藤選手は本校近くの豊岡高校から城西大学に進学し、現在２８歳になりました。今までの自己記録は彼が大学３年生の時に出した４５秒５８でした。よって、彼は８年間かけて０秒８１を更新しました。０秒８１、これは数字から見れば僅かに１秒にも満たない時間かも知れませんが、競技者にとってはとてつもなく高い壁であったと思います。途中「もう無理かな」と弱気になったときもあったそうですが、決意を決めて大学院に行き科学的な視点を取り入れる等の工夫を積み重ねて、今回の記録に繋げました。最後まで諦めないで、常に工夫を重ね続けることの大切さを教えてくれました。

　３年生の皆さんも自分の弱みを強みに変えるメンタルと結果を出すまで諦めないで工夫を続ける精神、これを持ち続けて希望進路を実現してください。

　１・２年生も含めて皆さんにとって”実りの秋”となるように期待します。　私からは以上です。